

研究課題名	多発性硬化症における認知機能障害と再構築による機能代償 および疲労との関連
研究の意義・目的	多発性硬化症患者において注意課題の施行中および前後の脳活動を脳磁図（MEG）で計測したデータを等価電流双極子（Equivalent Current Dipole: ECD）法および空間フィルター法で解析し、健常対象者と比較することで多発性硬化症患者の注意障害の神経基盤の解明を試みる。同時に疲労と注意障害との関連についての検討を行なう。なお当課題は先に行なった承認番号 2778「脳磁図を用いた多発性硬化症における注意障害と疲労の神経基盤の解明」の継続申請の研究であり、データ解析および学会・論文発表時には、承認番号 2778 のデータと紐づけて解釈する。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2014年3月5日～2018年3月31日に大阪公立大学医学部附属病院の脳神経内科で、多発性硬化症の治療のため受診された通院患者さまが対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	過去にご協力いただいた研究（「脳磁図を用いた多発性硬化症における注意障害と疲労の神経基盤の解明」承認番号 2778）でご提供いただいた下記項目を本研究に使用させていただきます。 診療情報等：【診療記録、脳磁図、脳 MRI データ、注意課題のデータ、質問紙の解答】
試料・情報の他機関への提供	該当なし
この研究を行っている共同研究機関	該当なし
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学 教授 伊藤義彰
本研究の利益相反	今回の研究はノバルティス株式会社から研究助成金を受けて実施されます（2020年3月迄）。本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの手順に従って管理を行い、必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告等を行うことにより、本研究の利害関係についての公正性を保ちます。
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 脳神経内科学 （担当者氏名）武田景敏 電話番号：（06）6645—3889